

<別紙1>

## 第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社フィールズ

② 施設・事業所情報

名称：GENKIDSいずみ中央保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：飯村 有卯子	定員（利用人数）：定員：50名 （利用人数：55名）
所在地：〒245 - 0023 横浜市泉区和泉中央南5-13-1 エスボックス内	
TEL：045-800-3338	ホームページ：http://www.jp-holdings.co.jp/amenitylife/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日： 2006年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社 日本保育サービス	
職員数	常勤職員： 13名 非常勤職員： 8名
専門職員	園長 1名 主任 1名
	保育士 15名 栄養士 4名
施設・設備 の概要	保育室 6 トイレ 2
	厨房 1 園庭 1
	調理室 1 事務室 1
	休憩室 1 応接室 1
	ホール 1 倉庫 1
	ユーティリティ 2 園庭 有
	ベビーカー置場 有

③ 理念・基本方針

【保育理念】

「未来(あす)を生きる力を培う」

自分らしく、生きる道を歩み、どんな時代にも対応出来る資質と能力を培います。

【保育方針】

一人ひとりに心をかけ、愛情を注ぎ、成長に合わせたきめ細やかな保育を行うことで、変化の激しいこれからの社会を生き抜くための、“生涯にわたる生きる力の基礎”を育みます。

- ・自ら伸びようとする力を支えます。
- ・五感を養って感性を豊かにします。
- ・後のびする力を育みます。

④ 施設・事業所の特徴的な取組

園は駅に近いため近隣には大規模マンションや戸建て住宅が多く、道路に沿って川が流れ、大小の公園や草地など自然にも恵まれています。子供達は午前と午後の1日2回散歩に出かけ、自然を感じ、思い切り体を動かし、伸び伸びと過ごしています。そういった環境のなか、下記の取り組みを行っています。

【ほいくプログラム】子供達の生きる力、伸びる力を育むことを目的に、それぞれの年齢・発達に合わせた多様な保育プログラムを実施しています。全てのプログラム

は、子供達への教育ではなく、楽しむ心や学ぶ楽しさを育むプログラムとなっています。

【えいごプログラム】英語を教科としてではなくコミュニケーションの手段の一つと捉えています。「英語って楽しい」という思いを持ってもらいたい「伝えたい」を引き出すようなプログラムとなっています。

【たいそうプログラム】運動遊びを通じて生きる力を育みます。様々な動作を習得することで、たくましさやしなやかさを養い、危機回避能力や対応力を高めます。また、体の動きだけでなく、試行錯誤を繰り返して得た多くの成功体験から、意欲的な心を育てるとともに、思いやり、譲り合い、助け合い、応援する心などの社会性の面も育てます。

【リトミックプログラム】専門知識を学んだ講師が「こころ」と「からだ」の育成を大切にした指導を行っています。さまざまなプログラムを通じて、耳を傾けて集中すること、判断したことに即時に反応すること・心にあるものを表現すること・音楽に合わせて柔軟に動けるようになることを目指しています。

【リズム遊び】ピアノや他の音源を使って、様々な動きを楽しみながら表現の幅を広げます。表現・リズム感・協調性・体力・柔軟性の基礎能力を培います。4、5歳児クラスは運動会でパラバルーンやフラッグの演技にも挑戦します。

#### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和4年8月1日（契約日）～ 令和5年4月14日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（2017年度）

#### ⑥総評

◇特長や今後期待される点

1)子どもの発達につながるプログラムを提供しています

園では保育理念である「未来を生きる力を培う」を基に、プログラムを提供しています。知能を育てるほいくプログラムやえいごプログラムの他に、たいそうプログラム→リトミック、リズム遊びなどで体力づくりを進めています。心身の健やかな発達に向けた保育は保護者からも評価されています。

2)保育の質の向上へ全職員で取り組んでいます

職員全員が年2回保育に関わる自己評価を実施し、保育目標や指導計画等に沿って保育の実践ができたどうか振り返り、改善に繋げています。パート職員を含め、職員全員を対象に「全体研修」を行い、園が大切にしている園運営の基礎となる重要な事項について職員に周知徹底を図っています。こうした保育に係る共通認識をチームワークの礎とし、全職員で保育の質の向上に取り組んでいます。

3)地域貢献に関わる事業の活性化が期待されます

地域への子育て支援の一環として育児相談、栄養士による食事指導の講習会や園庭開放等の取組を実施していますが、コロナ禍の影響もあり、直近では地域の未就学の保護者等の参加がありません。行政等の関連機関と連携し地域への呼びかけ等を工夫して事業の活性化を図ることが望まれます。

4)法人・管理職への信頼性確保が期待されます

保護者は園の理念や基本方針を知っていると認識していますが、イベントの平日開催などの課題を指摘しています。職員は仕事量や人員確保の課題を感じています。園の運営に関わる法人と管理職、職員、さらに保護者と協力して一体となり、子どもの保育に取り組むことが期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価を受け、自園の運営や保育内容等について職員全体で話し合いを進める中で、改めて確認出来たり、再認識するいい機会となりました。ここ数年コロナ禍により、行事の取り組み方や、様々な遊びを充実出来る様に努めてきました。保護者アンケートはお忙しい中、多くのご家庭に提出して頂きありがとうございました。温かいお言葉も沢山いただき、職員一同の励みになりました。今回の結果では高い評価を頂いた点、また改善、努力していく点が具体的に分かり、今後の課題も明確になりました。今回の結果を真摯に受け止め、これからもより一層努力していきたいと思えます。ありがとうございました。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり